

## マルコの福音書 導入

マルコの福音書はおそらく新約聖書でもっとも重要な福音書でしょう。

その理由は、四福音書の中でもっとも古い福音書だと学者たちの間で言われているからです。つまり、すべての福音書のおおもととなっているのです。

マタイとルカの福音書を検証すると、マルコの福音書が彼らの手元にあったことがわかります。

ふたりとも、マルコの福音書を原案として、彼らが伝えたい内容を盛り込んだわけです。

ですから、マルコの福音書を学ぶなら、イエス・キリストの人生を描く最初の歴史の記録に触れられます。

どの書を読むときも、まず考えるのは著者についてです。

この福音書を書いたマルコとはどのような人物でしょうか。

新約聖書には、マルコに関する記述がたくさんあります。

マルコは、マリヤという裕福な女性の息子で、その家は初代教会の信徒たちの集う場所でした。(使徒12:12)

ですから、マルコは活気あふれるクリスチャンの交わりの中で育ちました。

マルコはバルナバの甥です。パウロとバルナバは第一次宣教旅行にマルコを秘書として同行させました。

しかし、残念ながらマルコは宣教旅行で長続きしませんでした。

理由は定かではありませんが、何か深刻な問題があったようです。パウロは次の宣教旅行にマルコを同行させるのを拒否しました。(使徒13:13、15:37-40)

その後数年間、マルコは歴史の舞台から姿を消しますが、その後ふたたび登場します。パウロが投獄中にコロサイの信徒たちに手紙を書き送った際、マルコもそこに一緒にいました。(コロサイ4:10)

投獄中にパウロが書いたピレモンへの手紙でも、マルコを同労者のひとりとして挙げています。(24節)

パウロは晩年、死を目前にしてテモテに送った手紙で、マルコと一緒に連れてきてほしいと頼みます。そして、マルコは自分の務めのために役に立つからと語りました。(テモテ第二4:11)

パウロとマルコの間で起こった問題が何であれ、それはすでに解決していて、パウロが最期にそばいてほしい人物がマルコだったのです。

マルコはどこから情報を得たのでしょうか。

どんな話でも、情報源によって価値が左右されます。

聖書から得られる唯一の情報は、マルコがペテロと親しかったことです。

ペテロ第一5:1で、ペテロはマルコを私の子と読んでいます。

これは、マルコが血のつながった息子だったからではなく、ふたりが親しかったからです。

聖書からではありませんが、信ぴょう性の高い資料から、マルコはペテロから多くの情報を得ていたという歴史的根拠があります。

パピアスという人は、「マルコはペテロの通訳で、ペテロが思い出したキリストの行いやことばを順序は違っていても内容は正確に記録した」と語っています。

この福音書は、紀元65年にペテロが亡くなった直後に記されています。

ですから、この福音書に記されている内容は、ペテロがイエスについて教えた事柄であり、イエスの人生の目撃証言に匹敵するものです。

イエスの人生がもっとも率直かついきいきと描かれた書です。

では、最初から見ていきましょう。

今日のメッセージのタイトルは、「つなげる」です。

### マルコ1: 1-14

1:1 神の子イエス・キリストの福音のはじめ。 1:2 預言者イザヤの書にこう書いてある。「見よ。わたしは使いをあなたの前に遣わし、あなたの道を整えさせよう。 1:3 荒野で叫ぶ者の声がする。『主の道を用意し、主の通られる道をまっすぐにせよ。』」そのとおりに、 1:4 バプテスマのヨハネが荒野に現れて、罪の赦しのための悔い改めのバプテスマを宣べ伝えた。 1:5 そこでユダヤ全国の人々とエルサレムの全住民が彼のところへ行き、自分の罪を告白して、ヨルダン川で彼からバプテスマを受けていた。 1:6 ヨハネは、らくだの毛で織った物を着て、腰に皮の帯を締め、いなごと野蜜を食べていた。 1:7 彼は宣べ伝えて言った。「私よりもさらに力のある方が、あとからおいでになります。私には、かがんでその方のくつのひもを解く値うちもありません。 1:8 私はあなたがたに水でバプテスマを授けましたが、その方は、あなたがたに聖霊のバプテスマをお授けになります。」 1:9 そのころ、イエスはガリラヤのナザレから来られ、ヨルダン川で、ヨハネからバプテスマをお受けになった。 1:10 そして、水の中から上がられると、すぐそのとき、天が裂けて御霊が鳩のように自分の上に下られるのを、ご覧になった。 1:11 そして天から声がした。「あなたは、わたしの愛する子、わたしはあなたを喜ぶ。」 1:12 そしてすぐ、御霊はイエスを荒野に追いやられた。 1:13 イエスは四十日間荒野にいて、サタンの誘惑を受けられた。野の獣とともにおられたが、御使いたちがイエスに仕えていた。 1:14 ヨハネが捕らえられて後、イエスはガリラヤに行き、神の福音を宣べて言われた。

### 1. イエスと福音書を旧約聖書とつなげる。(2-3節)

マルコがまずしたのは、イエスと旧約聖書のみことばをつなぐことです。

彼は、預言者マラキヤやイザヤを引用しました。

2節でマルコは、マラキ3: 1を引用しています。

もともとのマラキ書の内容は、恐れを起こさせるものでした。

マラキの時代の祭司は、その責務を果たしていませんでした。

2節の「使い」は、神に油注がれたお方が地上にあらわれる前に神殿をきよめます。

### マラキ3: 2-3

3:2 だれが、この方の来られる日に耐えられよう。だれが、この方の現れるとき立っていられよう。まことに、この方は、精錬する者の火、布をさらす者の灰汁のようだ。 3:3 この方は、銀を精錬し、これをきよめる者として座に着き、レビの子らをきよめ、彼らを金のように、銀のように純粋にする。彼らは、【主】に、義のささげ物をささげる者となり、

3節は、イザヤ40: 3の引用です。

この個所の内容は、神の民に対する励ましです。曲がったところを正し、険しいところを平らにしてくれるお方が将来あらわれるという内容です。

これは、励ましのメッセージです。

皆さんは、イエスがそうなさるのを望みますか。

旧約聖書のふたつの個所から引用されているのは、「救う」と「裁く」ことのできるお方が来られるという約束です。

マルコが重視したのは、新約聖書のイエスが旧約聖書の神とつながっていることを私たちがしっかり理解することです。

神は旧約聖書で約束された事柄を、イエスをとおして成就なさいます。

神はご自身の民を聖なる者とすることを望んでおられます。

また、神は罪を裁かれます。しかし、すべての罪から救ってくださる救い主がイエス・キリストという人となって来られました。

イエスは、罪の問題に対する答えです。イエスは、私たちの罪の問題を解決して下さいます。

## 証

私は25歳のころ、みじめな毎日を送っていました。当時の私は、神の聖霊が私に罪を示しておられることに気づきませんでした。

医者にも相談しても、抗うつ剤をくれるだけでした。

それで、クリスチャンのカウンセリングをする団体に連絡し、話を聞いてもらいました。

そこでも罪の問題は解決されず、牧師に連絡するよう勧めてくれました。

けれども牧師も私の罪を解決してくれませんでした。

牧師の家で私は何時間も泣きつづけ、ティッシュペーパーを一箱ぜんぶ使ってしまいました。

次の日曜日、私は教会に行きました。その日のメッセージは、ルカ15章の失われた息子の話でした。

神は、私がおぼろげな子だと示してくださりました。

礼拝後、私は自分の罪から救って下さいますと、イエスに助けを求めました。

イエスはそのとおりのことをしてくださりました。私を赦し、イエスの愛で包んでくださりました。

この日も数時間泣きましたが、その後はまったく新たな心持ちになりました。

聖書からも私の個人的な体験からも、イエスが唯一私たちの罪を解決して下さるお方だとはっきり言えます。イエスはあなたを赦し、新しい人になることがおできになります。

コリント第二5：17は、「だれでもキリストのうちにあるなら、その人は新しく造られた者です。

古いものは過ぎ去って、見よ、すべてが新しくなりました。」と語ります。

## 2. イエスとバプテスマのヨハネをつなげる。(4-8節)

イエスと旧約聖書の預言者をつなげた上で、マルコは次に、イエスとその働きをバプテスマのヨハネとつなげます。

バプテスマのヨハネは、旧約聖書の預言者の流れを汲む偉大な預言者です。

彼は、イエスのために人々を備えるために来ました。

バプテスマのヨハネは3つの方法でイエスのために人々を備えると、マルコは語ります。

a) 悔い改めを説く — イエスを受け入れる準備ができている人は、まず罪を悔い改める必要があります。

b) イエスに対してへりくだることを説く — バプテスマのヨハネは、自らについてイエスの履物のひもを解く値打ちもないと言いました。

履物のひもを解くのは、卑しい行いです。へブル人は奴隷でもそのような仕事は求められませんでした。

預言者であるバプテスマのヨハネが、そのようなもっとも卑しい仕事をする値打ちもないというのなら、私たちはイエス・キリストの前でそれ以上にへりくだる覚悟がなくてはなりません。

イエスを自らの救い主として知るには、悔い改めとへりくだりが必要です。

誰も自分が罪人だとは思いたくありません。過ちを認めることもしたくありません。

プライドは、人がイエスのもとに行く邪魔をします。

ルカ18：18-23で、金持ちの役人がイエスについていけなかったのは、お金だけが理由ではありませんでした。

その根底にはプライドがあります。彼は、自分が良い行いをし、正しい生き方をしているのでじゅうぶん良い人間だと思ったのです。

しかし、イエスは彼の心をご存じでした。イエスは私たちの心の中もご存じです。

c) イエスが聖霊をとおして救われると説く

イエスが聖霊のバプテスマを施されるという言葉は、旧約聖書の約束という背景に照らして考える

必要があります。その約束とは、神がご自身の霊を民に注ぎ、神のみそばにおいてくださり、民が救いの祝福に与るというものです。

#### エゼキエル36 : 22-32

**36:22** それゆえ、イスラエルの家に言え。神である主はこう仰せられる。イスラエルの家よ。わたしが事を行うのは、あなたがたのためではなく、あなたがたが行った諸国の民の間であなたがたが汚した、わたしの聖なる名のためである。 **36:23** わたしは、諸国の民の間で汚され、あなたがたが彼らの間で汚したわたしの偉大な名の聖なることを示す。わたしが彼らの目の前であなたがたのうちでわたしの聖なることを示すとき、諸国の民は、わたしが【主】であることを知ろう。——神である主の御告げ—— **36:24** わたしはあなたがたを諸国の民の間から連れ出し、すべての国々から集め、あなたがたの地に連れて行く。 **36:25** わたしがきよい水をあなたがたの上に振りかけるそのとき、あなたがたはすべての汚れからきよめられる。わたしはすべての偶像の汚れからあなたがたをきよめ、 **36:26** あなたがたに新しい心を与え、あなたがたのうちに新しい霊を授ける。わたしはあなたがたのからだから石の心を取り除き、あなたがたに肉の心を与える。 **36:27** わたしの霊をあなたがたのうちに授け、わたしのおきてに従って歩ませ、わたしの定めを守り行わせる。 **36:28** あなたがたは、わたしがあなたがたの先祖に与えた地に住み、あなたがたはわたしの民となり、わたしはあなたがたの神となる。 **36:29** わたしはあなたがたをすべての汚れから救い、穀物と呼び寄せてそれをふやし、ききんをあなたがたに送らない。 **36:30** わたしは木の実と畑の産物をふやす。それであなたがたは、諸国の民の間で二度とききんのためにそしりを受けることはない。 **36:31** あなたがたは、自分たちの悪い行いと、良くなかったわざとを思い出し、自分たちの不義と忌みきらうべきわざをいとうようになる。 **36:32** わたしが事を行うのは、あなたがたのためではない。——神である主の御告げ——イスラエルの家よ。あなたがたは知らなければならない。恥じよ。あなたがたの行いによってはずかしめを受けよ。

#### エレミヤ31 : 31-34

**31:31** 見よ。その日が来る。——【主】の御告げ——その日、わたしは、イスラエルの家とユダの家とに、新しい契約を結ぶ。 **31:32** その契約は、わたしが彼らの先祖の手を握って、エジプトの国から連れ出した日に、彼らと結んだ契約のようではない。わたしは彼らの主であったのに、彼らはわたしの契約を破ってしまった。——【主】の御告げ—— **31:33** 彼らの時代の後に、わたしがイスラエルの家と結ぶ契約はこうだ。——【主】の御告げ——わたしはわたしの律法を彼らの中に置き、彼らの心にこれを書きしるす。わたしは彼らの神となり、彼らはわたしの民となる。 **31:34** そのようにして、人々はもはや、『【主】を知れ』と言って、おのおの互いに教えない。それは、彼らがみな、身分の低い者から高い者まで、わたしを知るからだ。——【主】の御告げ——わたしは彼らの咎を赦し、彼らの罪を二度と思い出さないからだ。」

聖霊は液体ではありません。ですから、聖霊のバプテスマというのは、象徴です。これは、ヨハネの働きと来たるべき救いを関連付けるとともに、聖霊と水を対比して聖霊が優れていることを示すためです。

#### マルコ1 : 8

私はあなたがたに水でバプテスマを授けましたが、その方は、あなたがたに聖霊のバプテスマをお授けになります。」

聖霊と洗礼についての異なった見解をここで話す時間はありませんが、ひとつ明らかなことは、これをなくして新生はありません。

これについては、ヨハネ3章が明らかに教えています。

聖霊は、私たちの心が整えられたときをご存じです。

働かれるのは聖霊です。どれほど人間が努力しても、聖霊を無理やり働かせることはできません。

### 3.イエスと神をつなげる。(1-11節)

旧約聖書では、聖霊は神が選ばれた人に注がれました。そして、その人をおして神が働かれました。聖霊が目に見えるかたちでイエスに注がれた出来事は、イエスが神に選ばれたことが事実であることを確証づけます。神はイエスをおして働かれました。イエスは神の愛しておられる神の子であると証明されたのです。

これは旧約聖書の詩篇2篇と関連しています。

詩篇 2:7 「わたしは【主】の定めについて語ろう。主はわたしに言われた。『あなたは、わたしの子。きょう、わたしがあなたを生んだ。』

詩篇2篇で、神はご自身の子を王となさるとおっしゃいます。この王が地上を治め、裁きます。

しかし、詩篇2:12は、この王を信頼する人々は救われ、祝福され、安全だと語ります。これが、マラキとイザヤによる裁きと救いの預言とつながってきます。

#### 4. イエスと私たちとのつながり (15節) 悔い改めて福音を信じること。

預言者は、自らをイエスの履物のひもを解く値打ちもないと語りました。イエスは全地の裁き主です。では、私たちはどのようにしてイエスという素晴らしいお方とつながることができるのでしょうか。

マルコは15節で語ります。イエスとつながる唯一の方法はイエスの素晴らしい救いと永遠の安全を受け取ることであり、それは「悔い改めと福音を信じること」によって得られると言いました。

#### 例話

神の御国になかなか入れない人というのは、高価な花瓶に手を突っ込んで取れなくなった少年の話に似ています。

彼の両親はあわてて、せっけんやサラダ油を使って手はずそうとしましたが、うまくいきません。男の子の手はずすには高価な花瓶を割るしかなさそうだと両親が思い始めたとき、少年は大きな声でこう言いました。「ねえ、お金を持っているから手をグーにしているのだけど、パーにしたらどうにかなるかな？」

私たち人間は、大切だと思うものにしがみついてしまうことがあります。けれども、悔い改めるには、それらのものも神に明け渡す必要があります。

神は、この世の人生においても永遠においても、よりよい生き方を備えていてくださいます。あなたは今日、悔い改めて神を信じますか。